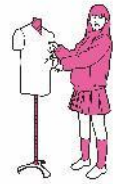


服Days

H30年2月号



埼玉県立新座総合技術高等学校 服飾デザイン科

服飾デザイン科 卒業作品展ファッションショー

1月20日（土）志木市民会館にて卒業作品展ファッションショーが執り行われました。3年生の卒業製作は、夏休みから計画が始まります。1年生から基礎をじっくり丁寧に積み重ね、ほぼミシンに触ったことがなかったところから、3年生の7月にはウールの裏付きスーツを作ることができるまで全員が達成します。卒業製作はその基礎の上に、自分の作りたいものを条件の中でデザインしたオリジナルな作品作りです。卒展ファッションショーはその作品を披露する場であると同時に、3年間本当に多くの先生方や保護者の方、地域の方に支えられてここまで成長出来たことに感謝する気持ちを伝える場でもあります。会場には約470名の来場者を迎え、生徒の思いの詰まった感動のファッションショーを盛大に行うことが出来ました。あらためて感謝申し上げます。





ファッションショーで、今まで作ってきた服と最後の卒業製作を私達のこだわりである「服を魅せる」という形で表現できたことがとても良かったと思います。1つのことに向かって大勢で力を合わせて成し遂げるといっても貴重な経験が出来ました。私は、これを自信にこれからも色々なことにチャレンジしていこうと思います。最後まで服と全力で向き合うことが出来て、本当に良い思い出になりました。

3年 M

今回初めてファッションショーに関わらせて頂いたのですが、客席には分からない裏での努力がたくさんあることを知って、より一層感動しました。そして、ファッションショーをより良く見せるために当日までアクセサリを考えたり、様々な変更を経て出来上がった「華」はとても素晴らしく、本当に思いのこもった素敵なショーだなと感じました。このファッションショーでとても多くの刺激をもらったので、この経験を活かして、自分達の代のファッションショーでも多くの人に感動を与えられるよう、良いものを作り上げたいです。

2年

私は今回モデルとして参加させていただき、初めて見る側ではなく出演する側で、とても新鮮な体験でした。台本の変更が何度もあったり、立ち位置を覚えるのがとても大変でした。舞台袖から先輩の動きを見ると、真正面から見るよりかなり迫力がありました。アシスタントの先輩が髪を巻いたり衣裳を変える時も、本当に手際が良くてびっくりしました。裏で支える係の人達がいるからこそショーが成り立つことが実感出来て、とても勉強になりました。先輩達の卒展ファッションショーに関わることが出来て、感謝の気持ちでいっぱいです。

1年 H